

人事評価表サンプル7【生産職】

人事の書式・シートのサンプルや人事制度ノウハウがPDFファイルでダウンロードできます。
 ここをクリック または 左下URLより、jinji.jpサイトへアクセスしてください。

対象期間	年 月 日 ~ 年 月 日		
氏名			
所属		等級	

評価者 氏名	一次	
	二次	

① 業績評価

評価項目	定義	点数定義										ウエイト	自己評価		一次評価		二次評価	
		0.0	0.5	1.0	1.5	2.0	2.5	3.0	3.5	4.0	素点		×ウエイト	素点	×ウエイト	素点	×ウエイト	
担当業務	売上高目標達成率	売上高 実績 売上高 目標	91%未満	91%以上 94%未満	94%以上 97%未満	97%以上 100%未満	100%以上 103%未満	103%以上 106%未満	106%以上 109%未満	109%以上 112%未満	112%以上	2.5	-	-				
	粗利益高達成率	粗利益高 実績 粗利益高 目標	91%未満	91%以上 94%未満	94%以上 97%未満	97%以上 100%未満	100%以上 103%未満	103%以上 106%未満	106%以上 109%未満	109%以上 112%未満	112%以上	2.5	-	-				
	人時生産性目標達成率	人時生産性 実績 人時生産性 目標	91%未満	91%以上 94%未満	94%以上 97%未満	97%以上 100%未満	100%以上 103%未満	103%以上 106%未満	106%以上 109%未満	109%以上 112%未満	112%以上	7.0	-	-				
	不適合品流出件数	流出不良件数の実績値	8件以上	7件	6件	5件	4件	3件	2件	1件	0件	7.0	-	-				
	改善提案件数	改善提案件数の実績値	1件以下	2件	3件	4件	5件	6件	7件	8件	9件以上	6.0	-	-				
合計→											25.0							

※ 特記すべき理由があるときは、各項目±0.5点を限度に点数を調整する。(+) 本人の責任外による業績ダウン等 / (-) 本人の活動によらない業績アップ等

一次調整 理由欄	二次調整 理由欄

② 職務プロセス評価

評価項目	定義	点数基準				ウエイト	自己評価		一次評価		二次評価	
		0	1	2	3		4	素点	×ウエイト	素点	×ウエイト	素点
5S	5Sを進んで行っていたか	自分の使った物・場所でも、使用後に所定の状態に戻していないことが複数回あった	自分の使った物・場所でも、使用後に所定の状態に戻していないことがあった	自分の使った物や場所は、使用後に所定の状態に戻していた	自分の使った物・場所以外に対しても整理整頓を行うなど、5S、見える化の活動に積極的に貢献していた	5S活動を率先重んじて実践している 他者に対する啓蒙も行っていた	3.0					
納期管理	生産計画に沿った納期管理を行っていたか	計画性に乏しく、納期遅れが度々あった	計画性を意識しているものの、納期に遅れることが時々あった	計画的に業務を行い、納期に遅れることはほとんどなかった	計画的に業務を行い、納期より早く仕事を完成させていた	周囲も巻き込んで計画的な業務を促進し、全体の迅速性向上に貢献した	3.0					
安全管理	生産工程において、効率のみを重視せず、安全意識を高く持って作業を行っていたか	作業指示書とは逸脱した作業手順を行っていた	作業手順書とは異なる進め方を行う場合があった	作業手順書通りに進め、製品を製造することができていた	作業時には安全に注意を払い、安全意識を高く持っていた	ヒヤリハットの報告をしっかりと行い、より安全に作業を行えるように手順の改善が見られた	3.0					
クレーム・トラブル対応	クレームやトラブルの際に、的確に状況を把握して対応や報告をしたか	クレームやトラブルに対して真摯に向き合おうとせず、必要な対応や報告をしなかった	状況の把握が不十分、または上司への報告が遅く、適切な対応ができなかった	状況を把握して滞りなく上司に報告し、必要に応じた助言を受けながら対応した	的確に状況を把握して、独力でできる範囲は自分で判断して対応した	上司と協力しながら、なるべく自分で対応しようとする、主体的に進めた	3.0					
知識・技能	設備の取り扱いや生産工程における幅広い知識や技能の習得に取り組んでいたか	どのような知識や技能が必要かを理解しておらず、自らを向上させようとする姿勢もみられなかった	必要性は認識しているが、習得への努力は不十分であった	業務上の必要に応じて、知識や技能を習得しようとしていた	幅広い知識や技能の習得に取り組んだ	知識や技能を著しく向上させ、周囲にも共有して全体のレベルアップに貢献した	3.0					
品質管理	常に細心の注意を払って作業し、ミスや不良品の防止に取り組んでいたか	品質への意識が低く、作業ミスや不良品が度々発生していた	品質への意識はあったが、作業ミスや不良品が時々発生していた	品質の確認やミス防止策を一通り行い、作業ミスや不良品がほとんどなかった	品質の確認をしっかりと行い、正確性と品質について信頼を得ていた	生産ライン全体のミスや不良品の防止に向けた取り組みを行っていた	3.0					
業務連携	前後の工程の進捗なども視野に入れ、必要な場合には応援対応を行っていた	自工程の都合のみを考えた行動となっていた	前後の工程の状況を把握する努力を行っていた	前後の工程の状況が悪化した場合に、応援対応を行っていた	他工程の状況を常に把握し、必要な対応を行っていた	生産ライン全体の効率化を考え、必要な応援対応を積極的に行っていた	2.0					
小計→						20.0						
全社共通項目	問題解決	業務遂行における問題を見出し、自ら積極的に問題解決に取り組んでいたか	問題を見つけた姿勢がみられなかった	問題点は認識しているものの、問題解決への行動が起きていなかった	問題点を発見し、問題を解決しようとする姿勢が見られた	問題解決に向けて具体的な取り組みを行っていた	積極的に問題発見を行う姿勢が見受けられ、解決に向けての取り組みを行っていた	2.0				
	報連相	抜け漏れなく報告・連絡・相談を徹底して行う姿勢が見られたか	報告・連絡・相談を怠って、業務に支障をきたすことが度々あった	報告・連絡・相談が不十分、または遅く、業務に支障をきたすことが時々あった	進捗をこまめに報告したり問題を速やかに相談したりして、業務に支障をきたすことはほとんどなかった	報告・連絡・相談の内容は端的でわかりやすく、素早い情報伝達が行われていた	相手の必要な情報を予測して的確に伝達し、円滑な業務の流れを作っていた	2.0				
	ルール順守	会社が決めたルールを守っていたか	勝手にルールを変更したりすることで、ミスや事故が発生した。	ルールを守る意識が低く、小さなミスや事故があった。	ルールを守った上で、しっかりと業務を遂行していた	実態に即していないルールは上司や他部署に相談し、ルールの見直しを進めていた。	他者に対してもルールを守る事を徹底し、規律のある職場作りを貢献していた	1.0				
小計→						5.0						
合計→						25.0						

★ 最終得点

① 業績			② 職務プロセス			最終得点	
小計		ウエイト	小計		ウエイト	合計	
一次		×	一次		×	一次	
二次		50%	二次		50%	二次	

(最終得点は小数第1位を四捨五入)

★ 総合コメント記入欄

本人	一次評価者	二次評価者